検査体制整備計画の変更点

	旧計画(令和3年11月)	新計画(令和4年4月)
検査需要 見込みの 考え方	▶第5波における最大新規陽性者数(7日間平均 4,923人)をベースに算出(陽性率10%で割り戻し)▶インフルエンザ流行を想定した検査需要を加算	▶過去の検査実績最大値(令和4年1月24日の約4.7万件)等をベースに算出▶PCR等検査無料化事業の需要も見込む※インフルエンザ流行による需要は見込まない
検査需要	独自検査 約1.7万 検査需要最大 約8.8万件/日 行政検査 約5.8万	無料検査 約3.0万 独自検査 約9.1万 検査需要最大 約20.8万件/日 行政検査 約8.7万
検査体制	検査体制最大 約10.0万件/日─ 約10.0万件/日─ 約10.0万	横査体制最大 約29.0万件/日 ・独自検査 約24.0万 無症状の濃厚接触者には 抗原簡易キットを配布
需要に対 する体制	検査需要:約8.8万件/日 < 検査体制:約10.0万件/日	行政検査・独自検査需要:約17.8万件/日 < 検査体制:約24.0万件/日 無料検査の需要:約3.0万件/日 < 検査体制:約5.0万件/日 ※ 需要上振れ分にも対応可能な検査体制を確保